

令和3年度 第1回下関医療センター地域医療支援病院運営協議会  
(JCHO地域協議会) 議事概要

下関医療センター地域医療支援病院運営協議会(JCHO地域協議会)については、新型コロナウイルス感染を鑑み通常開催が難しいと判断し書面会議での開催とした。

- 発送文書 令和3年12月22日(木) 下医発事第185号
  
- 文書送付先 外部委員
  - 木下 毅 一般社団法人 下関市医師会会長
  - 石丸 文至 下関市保健部部长、下関市立下関保健所所长(新規委員)
  - 芳川 修栄 一般社団法人 下関市歯科医師会副会長
  - 浜田 幹生 一般社団法人 下関市薬剤師会副会長
  - 北村 満男 下関市消防局局长
  - 櫛田 宏治 東亜大学学長
  - 波佐間 清 下関市社会福祉協議会会長
  - 上村 和治 上新地自治連合会、上新地町二丁目自治会会長
  - 義原 洋志 伊崎自治連合会、伊崎二町自治会会長
  
- 院内委員
  - 山下 智省 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター院長
  - 神崎 啓慈 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター事務部長
  - 古賀 美砂紀 独立行政法人地域医療機能推進機構 下関医療センター看護部長
  
- 添付資料
  - 資料1 下関医療センターの概要
  - 資料2 患者の動向
  - 資料3 紹介・逆紹介の件数の推移
  - 資料4 地域の医療従事者、住民等に対する研修の実施状況
  - 資料5 奇兵隊ネット利用状況
  - 資料6 患者相談件数及び相談支援内容
  - 別紙 「出前講座」「健康横丁」について  
新型コロナウイルス感染症による患者サービスの取り組みの継続について
  
- 議事概要
  - 資料について
    - 「資料2」対前年度比にて入院、外来とも患者数の減少が見受けられました。新型コロナウイルス感染症の影響も関係しています。救急車搬入件数は増減ない数値を保っています。
    - 「資料3-1、3-2」地域のクリニックから紹介、当院からの逆紹介は年々増加しておりましたが、新型コロナ禍の中、令和2年度は減少傾向となりました。これからも地域医療の要としてクリニックとの連携、地域医療のフォロー、サポートをしっかりと行ってまいります。

- 「資料 4」令和 2 年 2 月以降、新型コロナウイルス感染拡大防止のため講演会、研修会を中止せざるを得ませんでした。健康横丁（一般、地域の方々に向けた医療・介護に関する情報提供、啓発を行う講座）を LINE にて動画配信しました。

(1) 地域医療支援病院としての業務遂行状況について

添付資料 1～6 が当院の地域医療にかかる運営状況となります。地域医療に対して当院にご意見及びご要望がございましたらご記入下さい。

- 実際は、全体に上昇傾向にあったところ、令和 2 年以降コロナ拡大の影響で致し方ないことだと思います。感染予防対策については、正確な医療科学情報が求められていますので、健康横丁等で活発な啓発がありましたら市民の方は助かると思います。
- コロナ禍における患者数の減少はやむを得ないところである。様々な行事の中止は対策として残念であるが、コロナ感染者のクラスターを避けることも重要である。
- コロナ禍の中、大変ご苦勞をおかけしていると思います。地域医療に多大な貢献有難うございます。
- 平素の地域医療への取り組みに感謝致します。コロナ禍における医療は、コロナ対応の治療による医療崩壊と同時に、患者さんの診療控えによる病院経営という難題にも直面されていることを痛感いたしました。周りの人にも医療控えが顕著で、少しの痛みや不快感では我慢し、市販薬でしのいでいると聞くこともあります。その為、病の発見の遅れや、家に籠ることでの運動不足による認知症の進行や免疫力の低下が心配されますが、民生委員や自治会長が説明しても説得力がなく、地域医療の一環として今一步周知していただけると助かります。
- コロナ禍の状況下において、色々な側面からご努力いただき、地域医療を担っていただき感謝申し上げます。このような状況ですので、ある程度の患者減はやむを得ないと思われませんが、継続治療が必要な方が勝手に治療中断しているケースも少なからずあるのかなと危惧しております⇒「0410 対応」も始め継続治療に繋がる体制整備を宜しくお願い致します  
⇒「0410 対応」とは、厚生労働省が 2020 年 4 月 10 日に通達した「新型コロナウイルス感染症の拡大に際しての電話や情報通信機器を用いた診療等の時限的・特例的な取扱い。

(2) 新型コロナウイルス感染症による患者サービスについて

別紙「新型コロナウイルス感染症による患者サービスの取り組みについて」を参考にご意見及びご要望がございましたらご記入下さい。

- オミクロン株やワクチン接種について、国の情報に基づいたわかりやすい解説や医学的根拠に基づいた予防対策についての説明が求められていると思います。
- 対面診療等物理的に困難なことも多いと思いますが、発熱者、感染者への電話やネット対応等、保健所や民間クリニックと連携をとりながら個人や組織にサービスを展開できれば望ましいと思います。
- コロナ禍では、なかなか対面でのお話しなど制限が有るとは思いますが少人数でも出前講座など行ってもらえると有難いと思います。

- 出前講座や健康横丁は素晴らしい企画だと思います。地域に出ていただける、また家に居ながら参加できるという手軽さ。特にコロナ禍における対応としては必要なことかもしれません。ただ、高齢者にもスマホが普及してきたとはいえLINEなど使うことに抵抗が有る方が多いようです。そこで、地域の自治会等がこの企画をいかに地域の人、特に高齢者に普及することができるのか、ミニ集会の場など（コロナ対策を徹底）で健康横丁の動画を見ながら体験するなどの工夫も必要なのかなと感じております。
- コロナ禍の状況においても出来る範囲での研修会開催（Web使用）を引き続き宜しくお願い致します。  
※LINE「お友達登録」しました！
- オンライン面会等の工夫が見られ面会者にとって安心された事でしょう。良い方策です。

(3) その他、ご要望及びご意見がございましたらご記入下さい。

- 地域の皆様の生活の安心、安全、健康のために大変な社会状況の中、ご貢献いただいておりますこと感謝致します。
- コロナ禍の中での病院対応は、本当に頭が下がります。どうぞ、医療従事者の皆様、健康に留意され頑張って下さい。本当にお疲れ様です。
- コロナ禍での医療対応、御苦勞様です。地域医療の要として頑張って下さい。
- 昨日、当自治会連合会でコロナ対策の講習会の開催を検討しましたが、出前講座としては感染者が広がっている状況では厳しいとの回答を、また地域住民のなかにも市内に感染者が出ている状況で集まることに抵抗があるなどの声も出ていたため中止としました。

マスコミなどでは、感染者数だけを大きく取り上げ、感染の怖さだけをあおり続ける日が続きました。いまだに、感染者数だけ大きく取り上げているのが現状です。特に高齢者はテレビなどのバラエティー番組の情報だけを鵜呑みにし、「怖いから外に出ない。散歩もしない。」と言われる方も多くおられます。確かにコロナを恐れる事は必要と思いますが、コロナの感染が終息した時にコロナ関連の講演会をしても全く意味を感じず、むしろ感染が広がっている時だからこそ、コロナ感染の実状、対策、コロナ禍における健康維持の方法などを現場の方から話していただきかったというのが実感です。

さて、話は変わりますが、私の高齢の母親が昨夏のコロナワクチン接種で貴病院を利用させていただきましたが、どの職員さんにもこやかに大変親切に対応していただき、不安だった気持ちが楽になったと申しております。日々の院長先生始めスタッフの皆さんの教育の賜物かと感心しております。母親に成り代わりましてお礼申し上げます。ありがとうございました。

- 現在はコロナ感染症も落ち着いてはおりますが、今から年末年始や季節的にも感染症が再増加する可能性があります。引き続き感染対策を徹底しつつ、日頃の業務に取り組んでいただきたく宜しくお願い申し上げます。寒さが厳しくなってきました。どうぞ皆さまお体ご自愛下さいませ。
- コロナ対応、お疲れ様です。今後もよろしくお願い致します。